

# 第7章 教 育

## 第1節 教育委員会

### 1 教育委員会

委員会は、定例会を12回、臨時会を1回招集し、議案件数は28件であった。

### 2 教育大綱・教育基本構想

令和2年12月に新たな「沼津市教育大綱」を策定し、誇り高い沼津を創造する「貴き志を持つ人」の育成を進めている。

大綱策定を受け、本市の教育の方向性を明確にし、教育施策を総合的に進めていくための指針となる「沼津市教育基本構想」を令和3年3月に策定し、「人間力を磨く教育」と「地域総がかりで取り組む教育」を一体的に推進している。

また、構想に示した理念や方向性の具現化を図るため、構想と併せて策定した「沼津市教育基本構想実施計画」に基づき、各事業を展開している。

### 3 総合教育会議

総合教育会議は、平成27年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置され、市長と教育委員会で構成し、教育大綱の策定や「教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策」等について協議・調整を行う。

本年度は、「地域総がかりで取り組む教育」に関連する、学校規模・学校配置の適正化、コミュニティ・スクール、部活動の地域移行の3つをテーマとした会議を10月に1回開催した。

その後、同一テーマで地域住民を対象とした「地域教育懇話会」を全ての中学校区単位で開催し、説明及び意見交換等を行った。

### 4 学校規模・学校配置適正化推進事業

教育の環境や質の更なる充実を図るため、「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」を平成29年度に策定し、その後、令和2年12月に改正して取り組みを進めている。

本年度は、児童生徒数に関する小中学校区別人口推計調査を実施し、ホームページでの公表や12月から令和5年3月にかけて開催した「地域教育懇話会」を通じ、適正化に向けた基本的な考え方も含めて周知を図った。

## 第2節 学校の運営・管理

5月1日現在における市立の学校・幼稚園数、学級数、教職員数（兼務者除く）、児童・生徒・園児数（認定こども園は除く）は次のとおりであった。

区 分	学校・幼稚園数	学 級 数	教 職 員 数	児童・生徒・園児数
小 学 校	23 校	314 学級	634 人	7,577 人
中 学 校	18	166	424	4,395
高 等 学 校	1	15	61	605
幼 稚 園	1 園	3	7	20

### 1 小 学 校

戸田地区小中一貫校整備工事、屋内運動場トイレ洋式化等整備工事、開北小学校自動火災報知設備更新工事のほか、各小学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の児童の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級児童の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

#### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	児 童 数	決 算 額	1学級当たりの額 金	1人当たりの金額
4	314 学級	7,577 人	1,798,590 千円	5,727,993 円	237,375 円
3	316	7,811	1,696,631	5,369,086	217,210

#### (2) 経常費の児童1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
4	45,479	168,441	15,502	7,953	237,375
3	44,448	148,807	13,742	10,213	217,210

(3) 要保護及び準要保護児童の就学援助費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	917 人	12,033,192 円
修 学 旅 行 費	159	3,610,678
通 学 費		
新入学児童学用品費等	181	6,252,950
学 校 給 食 費	826	19,163,609
医 療 費		
4 年 度	2,083	41,060,429
3 年 度	1,966	59,050,620

※新入学児童学用品費等は令和5年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級児童の特別支援教育就学奨励費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	82 人	380,594 円
修 学 旅 行 費	9	90,684
通 学 費	24	592,310
新入学児童学用品費等	8	195,420
学 校 給 食 費	75	857,352
4 年 度	198	2,116,360
3 年 度	219	3,418,225

## 2 中 学 校

戸田地区小中一貫校整備工事、屋内運動場トイレ洋式化等整備工事、第五中学校空調設備改修工事のほか、各中学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の生徒の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級生徒の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
4	166 <sup>学級</sup>	4,395 <sup>人</sup>	1,160,508 <sup>千円</sup>	6,991,014 <sup>円</sup>	264,052 <sup>円</sup>
3	169	4,527	1,048,047	6,201,461	231,510

### (2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
4	41,737	174,706	33,592	14,017	264,052
3	42,917	155,113	16,831	16,649	231,510

### (3) 要保護及び準要保護生徒の就学援助費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	799 <sup>人</sup>	15,539,516 <sup>円</sup>
修 学 旅 行 費	186	10,045,183
通 学 費		
新入学生徒学用品費等	164	9,840,000
学 校 給 食 費	568	15,273,549
医 療 費		
4 年 度	1,717	50,698,248
3 年 度	1,606	62,803,782

※新入学生徒学用品費等は令和5年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級生徒の特別支援教育就学奨励費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	66 人	356,592 円
修 学 旅 行 費	12	329,931
通 学 費	7	113,968
新入学生徒学用品費等	21	527,422
学 校 給 食 費	48	639,858
4 年 度	154	1,967,771
3 年 度	112	2,221,387

### 3 高 等 学 校

中高一貫教育の利点を生かし、6年間を通じた教育の充実に努めた。また、特別教室棟外壁改修工事等を実施した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
4	15 <sup>学級</sup>	605 <sup>人</sup>	563,906 <sup>千円</sup>	37,593,733 <sup>円</sup>	932,076 <sup>円</sup>
3	15	604	541,870	36,124,667	897,136

(2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
4	763,720	134,754	31,887	1,715	932,076
3	764,265	124,108	6,820	1,943	897,136

#### 4 幼稚園

心豊かで思いやりのある園児の育成に努めた。

##### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	園 児 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
4	3 <sup>学級</sup>	20 <sup>人</sup>	60,648 <sup>千円</sup>	20,216,022 <sup>円</sup>	3,032,403 <sup>円</sup>
3	3	23	60,724	20,241,432	2,640,187

##### (2) 経常費の園児1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
4	2,726,379	293,445	12,045	534	3,032,403
3	2,336,225	259,584	43,180	1,198	2,640,187

## 第3節 学 校 教 育

### 1 「チーム学校」実現事業

各学校が、地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して中期計画を達成するために、児童生徒支援員や図書館支援員など必要な支援員を配置するとともに、各学校が行う地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を支援することを目的に、小学校23校、中学校18校の各学校で行われた事業に対し交付金を交付した。

また、8つの中学校区（第五・大岡・片浜・静浦・第三・金岡・浮島・門池）をコミュニティ・スクール地区とし、地域総がかりでの学校運営に取り組んだ。

### 2 言語教育による表現力・読解力育成事業

国の承認を受けた、「読解の時間」と「英語の時間」からなる特別な教育課程「言語科」の授業を中心に、言葉を用いて人と積極的に関わる態度や論理的な思考力、表現力が高まる言語教育の推進及び読書活動の充実による読書力、読解力の向上を図った。

また、子どもたちが英語や異文化に親しみながら、英語によるコミュニケーションへの自信や興味、関心、意欲を高めていくことを目的として、小・中学校（中等部を除く）にALT（外国語指導助手）を配置したほか、中学校全学年を対象に生徒とALTが1対1で、1人1台端末を経由したリスニング・スピーキングを行う、市独自のパフォーマンステストを実施した。

### 3 中高一貫教育

沼津市立沼津高等学校・中等部は、中高一貫教育校として6年間の計画的、継続的な教育を通し、生徒個々の自己実現を図ることを目標に、生徒の学力向上や個性を伸ばす教育を活発に展開した。

### 4 情 報 教 育

小・中学校の情報機器の更新等を行うとともに、国が進めるGIGAスクール構想実現に必要な教職員のICTスキル向上のため、情報教育コーディネーターが1人1台端末や大型提示装置などのICT機器を活用した授業づくりを支援する学校訪問を行った。

そのほか、沼津市立小中高等学校ネットワーク協議会によるICT機器の活用とデジタル教材活用のための研究を行うなど、ICTの活用を通じた教育の質の向上に取り組んだ。



## 5 教職員の人事管理・研修

### (1) 人 事

学校や地域の実態及び教育課題に基づいた学校づくりや、信頼に応える教育の実現を目指す組織づくりのため、年度末に259人（小学校125人、中学校134人）の人事異動の内申を行った。

### (2) 健 康 管 理

教職員の疾病の早期発見・予防指導のために、定期健康診断、指定年齢健診などを行うとともに、心の健康増進を図るため、小・中学校の教職員を対象に「ストレスチェック」を実施した。

また、高ストレス者には専門医との面談を行う体制を整えることで、教職員の疾病予防に努めた。

### (3) 研 修

教職員研修センターが進める研修会及び個別訪問支援により、小・中学校に勤務する教職員の資質向上を図った。

### (4) 教科指導研究

小・中学校の教職員から選任した教科等ごとのチームで教科指導研究を推進し、年度末に研究の成果を教職員ポータル上に公開し、職員間で情報共有を図った。

本年度は各研究チームにおいて、学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえた研究を行った。

## 6 児童生徒の教育・健康管理

児童生徒の創意工夫、想像力の育成を図るため、小・中学校美術展を学校ごと開催した。

児童生徒をとりまく環境の変化に対応するため、教育委員会が作成した性教育に関する手引書「自らの生き方を考える」をもとに、各学校で性教育を行った。

児童生徒の体力づくりを進めるため、新体力テスト（4月～10月）、中学校体育大会（6月～7月）など各種の体育行事を実施した。

健康管理については、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の疾病の予防指導、治療の奨励を行うとともに、結核検診、尿検査、心臓疾患の検査及び生活習慣病予防検診を実施した。

## 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒が心の悩みや不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりをもって安心して学校生活

を送れるようにするために、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置した。

また、学校生活や生活環境等に悩みを抱える児童生徒及び保護者を支援するため、スクールソーシャルワーカー3人を配置した。

## 8 学校給食

学校給食を学校教育の一環としてとらえ、児童生徒の健康増進と望ましい食習慣の形成に努めた。

学校給食費の徴収・管理や地場産物の活用を含めた給食食材の調達を行うほか、学校給食衛生管理基準に基づく検査、関係職員の資質向上に向けた研修会を実施するなど、安全安心な学校給食の運営に取り組んだ。

## 9 特別支援教育

心身に障がいのある幼児児童生徒に対し、就学支援委員会の適正な就学支援を実施し、知的障害学級、自閉症・情緒障害学級、通級指導教室において、障がいの種類、程度により個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、医療的ケアが必要な児童等の学校生活を支援した。

また、臨床心理士等を含む専門家チームが小・中学校を巡回し、教職員や保護者の相談に応じるなどして、支援の充実を図った。

## 10 幼児教育

市内の幼稚園・保育園・認定こども園の連携を高め、相互理解の促進、連携の充実を図ると共に、保育の質や保育士の資質の向上を目的として、「沼津市幼児教育研究協議会」の活動を支援した。

また、「一定の所得未満の世帯」及び「第3子以降の世帯」の3歳から5歳児までの子どもの副食費について、本市独自の軽減施策として、国の基準を上回る補助等を実施した。

このほか、私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、4園に補助し、幼児教育の振興支援を行った。

## 11 育英奨学金

沼津市育英条例に基づき、奨学生選考委員会を開催して、新たに10人を選考した。その結果、1人月額1万円の奨学金を38人の大学生に交付して勉学の奨励に努めた。

## 12 児童生徒の安全指導

小・中学校では、学級活動などの時間を利用して、通学路の確認や自転車の乗り方などの交通マナー教育を行い、安全指導の徹底を図った。

また、地域や関係機関との連携を図り、児童生徒の安全確保に努めた。

沼津市通学路安全推進連絡協議会において、安全対策を専門とする有識者から助言を得ながら、関係機関と連携して通学路の安全対策を講じた。

## 13 隣接校選択制度

小・中学校入学時及び転入・転居の際に、居住地のある通学区域の学校以外に、隣接する学校も選択できる隣接校選択制度は、小学校入学児童1,156人のうち76人、中学校入学生徒1,352人のうち43人が利用した。

## 14 小中一貫教育

全小・中学校（中等部を除く）を「併設型小学校・中学校」とし、既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま「義務教育9年間で子どもを育てる」ことに重点を置く小中一貫教育を推進した。義務教育9年間の系統性を確保した教育課程の編成・実施や、小中合同の会議・研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等の教育活動に取り組んだ。

## 第4節 社会教育

### 1 社会教育委員会

教育委員会の委嘱により、社会教育に関する調査・研究・検討や諮問に対する答申、意見具申などを行う、10人の委員からなる諮問機関であり、本年度は、令和3年7月に教育委員会から諮問された「地域のつながりによる家庭教育支援について」への答申に向けて調査や検討を重ねるとともに、各種研修会にも参加した。

### 2 生涯学習

市民の学習に対する意欲を支え、学習の場を提供するとともに、生涯学習を基幹とした社会教育活動を推進した。

#### (1) 生涯学習の推進

「生涯学習情報コーナー」（市立図書館内に設置）において、県内の市町情報のほか、生涯学習についての各種情報を提供した。

##### ア 学習情報の提供

さまざまな学習情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報誌として「沼津まなぶくん」を年1回1,200部、「さんさんだより」を偶数月500部発行し、市内各連合自治会、地区センター等に配布した。

##### イ 生涯学習推進イベントの開催

市民の生涯学習活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習の啓発と普及を図るため、「第31回さんさん学習フェスティバル」を開催した。

参加団体 46団体・個人      来場者数 1,480人

#### (2) 地域における生涯学習の推進

コミュニティ単位に設置している「生涯学習地域推進員」と連携を図りながら、地域における学習活動を推進した。

##### ア 地域学習講師の派遣

各地域の団体やグループの学習活動を支援するため、その学習に合った講師や指導者を派遣し、地域学習を支援した（派遣回数12回）。

##### イ 出前講座

市民の学習ニーズに応えるため、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、学習

機会の拡大を図った。

講座数	74講座	開催数	100回
		受講者数	5,365人

#### ウ まちの識者

特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じた。

登録者	延べ98人	紹介件数	28件
		受講者数	763人

#### エ イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、0～3歳児とその保護者を対象とした英語教室を開催した。

開催数	17回	受講者数	延べ490人（214組）
-----	-----	------	--------------

また、4歳児から小学校低学年児童とその保護者を対象に、親子で英語を使ってコミュニケーションを図るプログラムを実施した。

#### オ 地域学校協働本部

地域総がかりで子どもたちの学びや成長を支える協働活動を推進するため、第五・大岡・片浜・静浦の各中学校区に加え、第三・金岡・浮島・門池の各中学校区に地域学校協働本部を設置し、コミュニティ・スクールとの連携を図った。

### 3 成人教育

#### (1) 市民大学

「豊かな未来をひらく」をメインテーマとして、価値観が多様化する現代社会の中で、市民の生涯学習活動を支援することを目的として、講師を招き、広い視野と新たな視点を提供した。

	日 程	テ ー マ ・ 講 師	出席者数 (人)
1	7.7	干物で食卓をつなぐ 魚食文化研究家 うすい はなこ	213
2	7.16	金メダル中継の舞台裏～オリンピックの意義とスポーツの力～ 元NHKアナウンサー・解説主幹 刈屋富士雄	227
3	7.30	源平の争乱と鎌倉殿 日本大学文理学部教授 関 幸彦	208
4	8.28	沼津の事例から学ぶコンテンツツーリズムとは？ 静岡英和学院大学人間社会学部准教授 毛利 康秀	179
5	9.10	嫌われる勇気～よりよい対人関係の築き方～ 哲学者 岸見 一郎	196
6	9.19	ラグビーと私 元ラグビー日本代表 五郎丸 歩	327
7	9.26	私の原点～スタジオジブリの世界～ 株式会社スタジオジブリ 代表取締役プロデューサー 鈴木 敏夫	348
8	10.10	音の新しい価値の創出 神奈川工科大学情報学部准教授 上田 麻理	158
9	10.22	グレイヘアと生きる～ありのままのわたし～ フリーアナウンサー・ナレーター 近藤 サト	180
			延べ 2,036

## (2) 高齢者教育

生涯学習の一環として、高齢者が心豊かに明るく健康な生活を送るとともに、仲間と語り合い、生きがいを求める場として、65歳以上の市民を対象とした高齢者学級を開設した。

開設学級 万年青大学5学級

寿大学16学級（愛鷹、原、浮島、日枝、大岡、内浦、橘西浦、香南、我入道、  
第三中、大平、金岡、片浜東部、片浜西部、今沢、門池）

期 間 4月～令和5年3月

学級生数 1,031人 学習回数 各大学とも月1回

また、学習のほかクラブ活動として、体力づくり、ダンス、詩吟、コーラス、俳句ほかを大学ごとに自主的に行った。

### (3) 家庭教育

#### ア 家庭教育講座

幼児期から思春期までの子どもの心身の発達や親の望ましいあり方等について学ぶ自信がもてる子育て講座を開催した。

開催数 11回 受講者数 延べ221人

#### イ 家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣した。

派遣回数 6回

## 4 青少年対策

### (1) 青少年問題協議会

青少年対策にかかわりのある機関・団体及び行政の代表13人で構成されている青少年問題協議会を年2回開催し、青少年の社会参画について意見交換を行った。

### (2) 青少年を健やかに育てる会

青少年健全育成を主眼に、地域組織として18地区に設置されている「青少年を健やかに育てる会」は、育成部・補導部により積極的な地域ぐるみの活動を行い、青少年の健全育成と非行・被害防止に努めた。

### (3) 青少年健全育成啓発事業

市民が青少年問題に対する関心を深め、青少年の健全育成を推進するために、「青少年を健やかに育てる会」及びその他の関係機関と緊密な連携を保ちながら青少年健全育成啓発事業を行った。

11月の「子供・若者育成支援強調月間」には、沼津駅周辺での街頭キャンペーンを実施し、さらに広報活動を通して青少年健全育成の啓発に努めた。

また、児童生徒が通学路や遊び場等で危険に遭遇した時、すぐに助けを求められる場所として「こどもかけこみ110番の家」（令和5年3月31日現在2,241か所）を設置した。

### (4) 青少年育成推進員制度

各地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された321人で構成され、「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役として、地域の青少年の育成や地区行事等で活動した。

### (5) 青年教育推進事業

青年が個人の教養や技術を身につけるとともに、地域での社会貢献の意識を高めることを

目的として、教養講座や交流活動を実施した。

(6) 二十歳の集い

市内17会場で地域における手づくりの式典を開催した。

また、責任ある大人としての自覚と市政への関心を喚起するため、二十歳の議会を開催した。18人の若者が、市政についての質問や、わたしにとっての沼津の「きらり」をテーマに一言発言を行った。

(7) わたしの主張大会

市内の中学生が家庭、学校、郷土（地域）、友人、将来のこと、あるいは、自分の体験や日頃考えていることを発表する場として第41回大会を開催し、市内19中学校から校内審査により選ばれた19人が発表した。

(8) 高校生しゃべり場 in んまづ

各高校の代表生徒に日頃感じていることや意見を自由に発言する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的として、ディスカッション方式で開催した。第10回となる本年度は、11人の高校生が、「大人になったら何が変わる？～18歳から成人に～」をテーマに活発な意見交換を行った。

(9) 青少年体験学習推進事業

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭ではできない体験活動を実施した。

開催数 2回 参加者数 50人

(10) 青年団体の育成及び青少年育成団体との連携

沼津市子ども会育成連絡協議会等と常に緊密な連携を保ちながら青少年の健全育成を図った。

(11) 子どもの居場所づくり推進事業

行政、学校、放課後児童クラブ、児童福祉、社会教育の関係者や地域住民の代表などの委員で構成される「放課後子ども総合プラン運営委員会」を設置し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との関連や活動場所、人材確保など本市における「新・放課後子ども総合プラン」等について協議をし、「放課後子ども教室」を市内5か所の小学校にて実施した。



## 5 青少年教育センター

### (1) 補 導

#### ア 中央補導

繁華街での補導を強化するため、各小・中・高等学校、地区補導委員代表者及び警察署等と連携を保ちながら計画的な街頭補導を実施した。

#### イ 地区補導

市内全域の補導強化を図るため、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された少年補導委員により、それぞれ地区の実情に合った補導を実施した。

#### 機関・団体別少年補導委員数

機 関 ・ 団 体 名	委員数
小 学 校 教 員	20 <sup>人</sup>
中 学 校 教 員	18
高 等 学 校 教 員	24
各地区青少年を健やかに育てる会	226
計	288

#### 街頭補導実施状況

実施回数	補導委員従事延べ人数	声かけ、注意、指導した少年	事後指導（家庭・学校・他機関への連絡）
504 <sup>回</sup>	2,845 <sup>人</sup>	1,911 <sup>人</sup>	<sup>人</sup>

街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位 人）

区分		学職別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計
		飲	酒						
喫	煙							0	
薬物乱用								0	
夜間はいかい			31	28				59	
不良交友								0	
怠学・怠業								0	
ゲームセンター入場		28	62	306				396	
パチンコ店入場								0	
カラオケ店入場				17				17	
自転車の暴走行為				3				3	
自転車の二人乗り				10				10	
自転車の無灯火		1		27	1		1	30	
危険な遊び		5	1	5		3		14	
その他		2	1	7		1		11	
計		36	95	403	1	4	1	540	
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡							0	
	他機関へ連絡							0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	
愛の声かけ運動		517	373	448	13	18	2	1,371	

※少年は20歳未満の者

(2) 環境浄化活動

有害図書の販売場所、ゲームセンター、カラオケ店及び公園・空き地等、青少年のたまり場や遊び場を見回することで、良好な環境の整備に努めた。

(3) 広報活動

非行・被害防止及び健全育成の啓発を図るため、青少年教育センターの機関紙「たより」の発行、関係機関や団体との情報交換を行った。

(4) 教育相談

面接相談と電話相談の各利点を生かして、児童生徒及び保護者の相談に応じた。教育相談の実績は、面接相談173件（延べ2,660回）、電話相談738件であった。

ア 相談指導学級

不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立を図るため、通級による指導を行った。

イ 面接相談

非行、不登校、発達・子育て、進路・適性、対人関係等の課題について、職員や臨床心理士、言語聴覚士により面接相談を通じて相談者自身による課題解決を支援した。また、本人や保護者との面接のほか、必要に応じて学校等への訪問を実施した。

相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

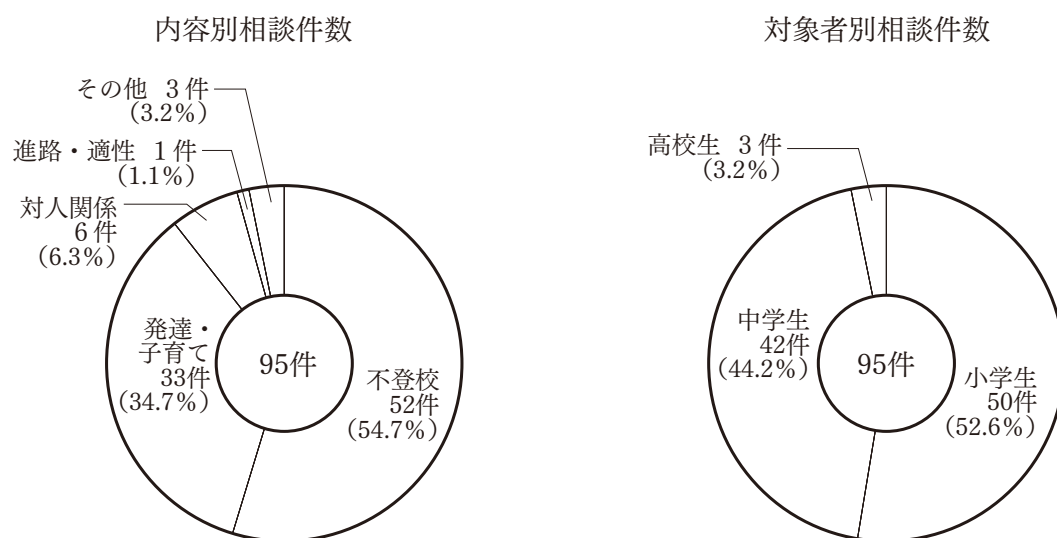
対象者	内容	非 行	不 登 校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その 他	計
幼 児								0
	新 規							0
小 学 生			40	37		2	3	82
	新 規		24	22		2	2	50
中 学 生			56	13	2	5	4	80
	新 規		26	10	1	4	1	42
高 校 生			6	3	1	1		11
	新 規		2	1				3
そ の 他								0
	新 規							0
本 年 度		0	102	53	3	8	7	173
	新 規	0	52	33	1	6	3	95

※対象者のその他……大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年など

※上段は相談件数

※下段は新規相談で上段の内数

[新規相談受理状況]



ウ 相談指導学級における教育相談教員研修

学校における複雑多様化した児童生徒の行動を理解し、課題の改善を図る手法として、「教育相談的かわり」のできる教員を育成することを目的に、教職員研修センターの主催する「若手教員研修」のうち相談指導学級における体験研修を行った。(受講者6人、年間6回)

エ 電話相談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談では、電話を通して訴えられる青少年に関する多種多様な課題や悩みについて、16人(令和5年3月31日現在)の相談員が共に悩み考えながら解決へ向け支援した。

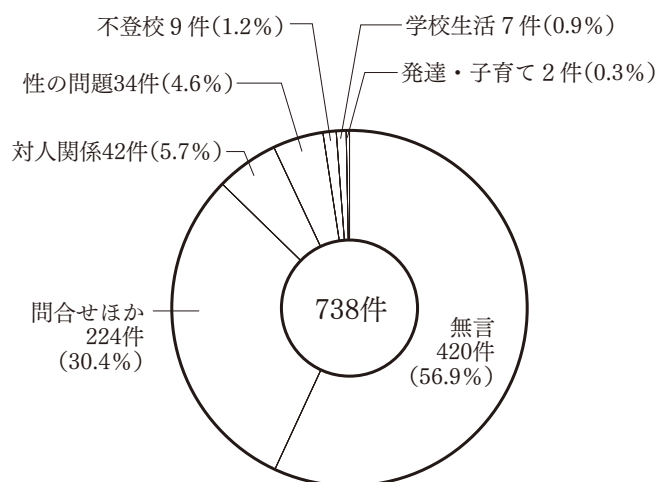
相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

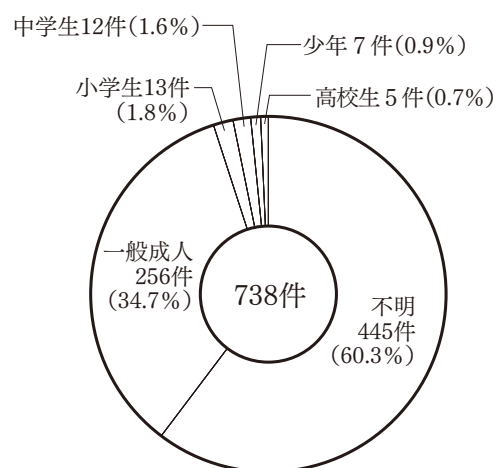
内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	不明	計
非行								0
不登校		1	8					9
発達・子育て		1	1					2
性の問題		7	2	3	4	10	8	34
進路・適性								0
対人関係		1			1	40		42
学校生活		3	1	1	2			7
問合せほか				1		206	17	224
無言	—	—	—	—	—	—	420	420
計	0	13	12	5	7	256	445	738

※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

内容別相談件数



対象者別相談件数



## 6 芸術・文化振興

市民による自主的な芸術・文化活動を支援し、その成果を発表する場として、市民の参画により「第49回沼津市芸術祭」を開催した。

部門名	開催日・会場	内 容
合唱祭	10.2 市民文化センター	参加団体 20団体（298人） 少年少女、高校、職場、婦人、一般による合唱の発表
芸術祭茶会	10.2 御用邸記念公園東附属邸	参加団体 3団体（50人） 茶道表千家、裏千家による茶席
書道展	10.5～10.10 プラサヴェルデ	出品総数 84点 書道の作品展示
写真展	10.7～10.12 市民文化センター	出品総数 92点 写真の作品展示
秋の舞踏会	10.9 市民文化センター	参加団体 6団体（138人） 各洋舞団体のジャズダンスやフラメンコ等の作品発表
ぬまづ文芸	10.10 入選者発表	出品総数 381点 随筆、詩、短歌、俳句、川柳の作品募集と作品集「ぬまづ文芸」の発行
バレエパフォーマンス	10.16 市民文化センター	参加団体 5団体（150人） 各バレエ団体による作品と合同作品の発表
沼津寄席	10.16 市立図書館	参加人数 8人 講談、落語、物語などの披露
美術展	10.20～10.24 プラサヴェルデ	出品総数 128点 洋画・日本画・水彩画・版画の作品展示
演劇祭	10.21～10.22 市民文化センター	参加人数 10人 岩崎 直 演出「螢袋の章おけい」の上演
邦楽祭	10.23 市民文化センター	参加団体 11団体（105人） 箏、三味線、謡の披露
現代いけばな展	10.28～10.30 市民文化センター	出品点数 19点 自由な発想による超流派のいけばな展示
郷土ふれあい太鼓	10.30 市民文化センター	参加団体 3団体（45人） 「郷土ふれあい太鼓」と題した太鼓の演奏
音楽の広場	11.3 市民文化センター	参加団体 9団体（293人） 高校生による吹奏楽の演奏
クライネムジークコンサート	11.5 市民文化センター	参加人数 11人 プロ・セミプロによるクラシック音楽の演奏
芸能祭	11.6 市民文化センター	参加人数 20人 古典日本舞踊の披露
新舞踊祭	11.19 市民文化センター	参加団体 10団体（90人） 各団体による新舞踊の披露

- 5月に第40回ぬまづ茶会を沼津御用邸記念公園で開催し、茶道文化の普及を図った。
- 山口源新人賞受賞者を講師に迎え、市内の高校や、大型商業施設で版画ワークショップを開催した。
- まちなかコンサート  
芸術文化の振興と市のにぎわいづくりを目的に音楽コンサートを開催した。

内 容	開 催 日	会 場	参加人数
まちなかで楽しむピアノの響き	11.6	沼津仲見世商店街 旧マルサン書店前	350人

## 7 市史編さん

市の歴史を明らかにする貴重な史・資料を整理・保存した。市史の構成は次のとおりである。

- 沼津市史  
「通史編」「資料編」「史料編」「別編」「通史別編」
- 戸田村史  
「通史編」「民俗編」

## 8 文 化 財

郷土の文化遺産の保護・継承のため、文化財の調査・整理及び保存に努めたほか、文化財の愛護思想を啓発するため、個人でまわる文化財めぐりを実施した。出前講座は29回開催し、933人の市民が聴講した。また、文化財保護審議会を2回開催し、「沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬」を答申し、沼津市教育委員会は市指定有形民俗文化財として指定した。

埋蔵文化財発掘調査関係の主な事業は、中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業ほか6事業であった。

また、史跡等保全整備事業として、重要文化財松城家住宅の保存修復を完了し、一般公開した。さらに、高尾山古墳国史跡指定意見具申書を作成し、提出したほか、興国寺城跡の整備基本計画の検討等を行った。

そのほか、沼津市文化財保存活用地域計画の検討、古代社会の成立をテーマに富士市との共催で実施した文化財講座の開催、文化財まちあるきマップの作成や小中学校にデジタルコンテンツを提供する等の文化財活用推進事業を行った。

## 9 社会教育施設

### (1) 若山牧水記念館

公益社団法人沼津牧水会を指定管理者として、歌人若山牧水の業績の顕彰と沼津の文学風土を紹介することを目的に、文学資料の保存や調査・研究を行うとともに、講座・講演等を開催し、広く市民の教養・文化の向上に努めた。

#### ア 事業

##### (ア) 講座・講演等

- 「初心者のための短歌講座」 129人、「牧水記念館短歌会」 70人

4月～令和5年2月 参加者 合計199人 講師 永久保 英敏

(公益社団法人沼津牧水会理事)

- 「中学生短歌コンクール」

募集期間 5月1日～7月31日

応募短歌 19校 1,590首 特選10首 入選短歌41首

- 「短歌大会」

10月2日 講師 黒瀬 珂瀾（「読売歌壇」選者、第26回若山牧水賞受賞者）

応募短歌 100首 参加者66人

- 「第35回 雛の歌会」

令和5年3月4日 講師 大森 静佳（「塔短歌会」編集委員）

応募短歌 79首 参加者57人

##### (イ) 調査・研究

牧水顕彰のための調査・研究を行い、関係資料の収集に努めるとともに、館報の作成に活用した。

##### (ウ) 若山牧水記念館館報の刊行

「沼津市若山牧水記念館」館報（年2回）を刊行し、市民への啓発を行った。

第69号（9月1日）

第70号（令和5年3月15日）



イ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	228 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	10	269 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>
5	260	26	11	303	26
6	233	26	12	172	24
7	233	27	5.1	140	18
8	264	26	5.2	229	24
9	227	26	5.3	277	27

入館者数 2,835人  
 開館日数 302日  
 1日平均入館者数 9.4人

(2) 歴史民俗資料館

郷土の歴史・民俗資料の収集、保管、調査・研究を行い、企画展や講座を開催し、市民文化の向上と発展に努めた。また、施設の老朽化等に伴う移転整備に向けた取り組みを進めた。

ア 歴史民俗資料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員6人による協議会を3回開催し、館の運営計画や展示計画、PR方法などについて協議した。

イ 事業

- (ア) 調査・研究活動として、民俗、古文書等の収蔵資料の整理を実施した。
- (イ) 普及活動として、「資料館だより」（年4回）、「沼津市博物館紀要47」（明治史料館と共同）を刊行した。
- (ウ) 夏休み期間中の土・日・祝日、体験学習「昔の道具を使ってみよう」を開催した。（参加者18人）
- (エ) 12月17日、歴民講座「水軍から見た戦国期の駿河湾と沼津」を開催した。（参加者121人）
- (オ) 歴史民俗資料館の移転整備に向け、学識経験者等で構成する策定委員会を3回開催し、移転整備の基本方針となる移転整備基本構想（案）を策定するとともに、原収蔵庫の収蔵資料を移転先となる旧内浦小学校校舎に移動した。

ウ 展示

(ア) 常設展

1階展示室に「内浦湾の漁法と漁具」、2階展示室に「生活用具とものづくり」、「沼津の漁業」を展示した。

(イ) 企画展

- 国指定漁具コレクション「生魚、走ル！～沼津の海産物輸送と交易～」を開催した。  
(4月1日～5月5日)

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	2,168 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	10	1,782 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>		
5	1,971	24	11	2,378	23	入館者数	22,197人
6	2,756	25	12	1,499	23	開館日数	290日
7	1,906	26	5.1	1,089	23	1日平均	76.5人
8	2,345	24	5.2	1,141	22	入館者数	
9	2,058	25	5.3	1,104	25		

(3) 明治史料館

江原素六及び沼津兵学校の資料を中心に常設展示を行い、地域の歴史資料の調査・収集・保存をし、企画展、講座開設、資料の整理・出版活動を通じ、文化の向上と発展に努めた。

ア 明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員10人による協議会を3回開催し、運営及び事業計画などについて協議した。

イ 事業

(ア) 小学生歴史教室

8月9日、戦争体験者の話を聞くなど沼津の戦争について学ぶ機会を提供した。

(イ) 平和を考える戦争史跡めぐり

8月10日・11日、小学生とその保護者を対象に、地域の歴史学習の場を提供した。

(ウ) 江原素六学習作品展

4月1日～5月29日の間、江原素六の功績に対し感謝と理解を深めるため、地元小学校児童の作品を展示した。

(エ) 中学生職業体験

10月20日・21日、市内中学生の職業体験を受け入れた。

(オ) 高校生のための一日学芸員体験講座

8月4日、「学芸員」という仕事を体験することによって、高校生が歴史や博物館などに対する興味を持つとともに、進路を決める際の参考になるよう開催した。

(カ) 古文書解読入門講座

9・10月土曜日（計5回）開催。古文書を初めて読む市民を対象に、くずし字などの解読力を養う講座を行った。

(キ) 古文書等整理実践講座

毎月第3土曜日（4月・9月を除く）を開催日とし、年間10回開催した。館所蔵の資料を実際に整理・保存する方法を学び、また古文書資料を翻刻して研究・展示等に役立てる講座を行った。

(ク) 戦争体験を記録する会

毎月第2土曜日を開催日とし、年間11回開催した。市民の戦争体験を記録した。

(ケ) 出版活動

館報である「明治史料館通信」（年4回）を刊行し、博物館活動への理解向上を図ったほか、歴史民俗資料館と共同で「沼津市博物館紀要47」を刊行した。

(コ) ギャラリートーク

毎月第2土曜日に、年間で10回開催し、職員が参加者と対話しながら解説した。

(サ) 市制100周年企画展準備事業

幕末・明治期から現代までの沼津のあゆみを写真で紹介する記念写真集を作成した。

ウ 展 示

(ア) 常 設 展

3階北側は「江原素六」、南側は「沼津の歴史」、4階は「沼津兵学校」を展示した。

(イ) 企 画 展

○ 江原素六生誕180周年・没後100周年記念特別展

「素六が翔ぶ 江原素六の生涯と功績」（4月1日～5月29日）

○ 「地域の歴史シリーズ 3 うきしま」（10月1日～11月27日）

○ 富士・沼津・三島3市博物館共同企画展

「このへん道中いまむかし ～富士・沼津・三島の観光～」

（12月10日～令和5年1月29日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数				
4	295 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	10	1,264 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	入館者数	5,783人		
5	541	24	11	526	22			開館日数	272日
6	262	22	12	202	15			1日平均	21.3人
7	336	26	5.1	529	23			入館者数	
8	674	24	5.2	333	19				
9	427	22	5.3	394	25				

(4) 戸田造船郷土資料博物館

幕末に日本に來航して駿河湾で沈没したロシアの軍艦ディアナ号、その代船として建造されたヘダ号関係の資料、戸田の漁業や廻船業などの郷土資料を展示・収集した。

ア 戸田造船郷土資料博物館協議会

館の運営の円滑化を図るために、委員6人からなる協議会を3回開催し、館の展示計画や広報活動、資料収集活動のあり方について協議した。

イ 事業

博物館だよりの発行

博物館への関心を高め、博物館の活動について住民に知らせるための博物館だよりを発行し、戸田地区内回覧及び各窓口事務所等に配布した。

ウ 展示

大名びな展（4月1日～5月31日）

ボトルシップ展（6月2日～10月10日）

重要文化財松城家住宅展（10月21日～令和5年1月31日）

「富士山いちねんぶん」写真展（令和5年2月2日～2月28日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	637 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	10	488 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>
5	809	28	11	644	25
6	515	25	12	507	24
7	581	26	5.1	473	25
8	822	27	5.2	531	24
9	508	25	5.3	743	26

入館者数 7,258人  
 開館日数 307日  
 1日平均入館者数 23.6人

(5) 庄司美術館（モン ミュゼ沼津）

NPO法人レザミ・デ・ザールを指定管理者として、所蔵する山口源や前田千寸の作品による常設展や月替わりの企画展を行い、市民に美術鑑賞の場を提供した。

ア 庄司美術館運営委員会

美術館の適正な運営を図るため、委員7人による運営委員会を1回開催し、運営及び展示計画などについて協議した。

イ 展 示

期 日	1 階 展 示 室	2 階 展 示 室
5.1.6～2.25	山口源賞大賞新人賞受賞作品展	所蔵作品展（山口源・前田千寸）
5.3.4～3.31	坂部隆芳作品展	所蔵作品展（山口源・前田千寸）

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	<sup>人</sup>	<sup>日</sup>	10	<sup>人</sup>	<sup>日</sup>
5			11		
6			12		
7			5.1	246	22
8			5.2	206	21
9			5.3	332	23

入館者数 784人  
 開館日数 66日  
 1日平均入館者数 11.9人

(6) 芹沢光治良記念館

平成21年4月1日に旧財団法人芹沢・井上文学館から資料及び建物の寄附を受け、同年10月1日に芹沢光治良記念館として開館した。本市生まれの作家芹沢光治良の関係資料を整理・収集・保存し、企画展示を行うとともに、2階展示室を市民ギャラリーとして沼津の文化に関する企画展示を一般公募するなど、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員5人による懇話会を2回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。

イ 事 業

(ア) 資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、資料目録の点検、補填など、資料の整理及び保存の処理を行った。

(イ) 各種広報活動

当館周知のためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要文化施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

(ウ) 教育普及

企画展展示説明会や出前講座等を実施した。

事業名	内 容	期 日	備 考
出 前 講 座	企画展人間の運命とその時代について	4.17	市立図書館 参加者10人
	企画展光治良の欧州体験について	12.17	サロン・マグノリア 参加者32人
	企画展光治良と中国展について	5.3.4	中野区社会福祉会館 参加者26人
展 示 説 明 会	企画展人間の運命とその時代展示説明会	5.4	全3回実施 参加者計17人
	企画展光治良の欧州体験	8.21 5.2.23	各日3回全6回実施 参加者計39人
講 演 会	第11回芹沢光治良文学講演会	5.1.14	講師：鈴木吉維氏 参加者119人

ウ 展 示

企画展

- 人間の運命とその時代（第2回）（4月1日～5月30日）
- 光治良の欧州体験（第1回）（6月15日～11月30日）
- 光治良の欧州体験（第2回）（12月15日～令和5年3月31日）
- 芹沢光治良と井上靖（9月17日～11月29日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数				
4	218 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	10	255 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	入館者数	4,316人		
5	401	26	11	232	24			開館日数	277日
6	154	14	12	158	12			1日平均	15.6人
7	483	27	5.1	389	24			入館者数	
8	689	25	5.2	348	23				
9	321	26	5.3	668	25				

(7) 重要文化財松城家住宅

平成28年度から実施した保存修復工事が完了した。戸田観光協会を指定管理者とし、11月3日にオープニングセレモニーと記念講演を行い、一般公開を開始した。

ア 事 業

戸田地区の魅力発信のため、指定管理者の自主事業として「富士山の日」の無料公開に合わせた以下の事業を行った。

紙芝居読み聞かせ（令和5年2月23日）

ぼんこつポン子イラスト展（令和5年2月23日）

イ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数				
4	<sup>人</sup>	<sup>日</sup>	10	<sup>人</sup>	<sup>日</sup>	入館者数	2,027人		
5			11	646	24			開館日数	125日
6			12	379	25			1日平均	16.2人
7			5.1	280	26			入館者数	
8			5.2	444	24				
9			5.3	278	26				

## 10 社会体育

生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ大会等の開催のほか、小・中学校の体育施設の開放を推進するとともに、NPO法人沼津市スポーツ協会、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会、同各地区体育委員会、同スポーツ少年団、県市町対抗駅伝競走大会沼津市実行委員会の活動助成に努めた。

また、令和5年度末に計画期間が終了する沼津市スポーツ推進基本計画について、市民のスポーツ振興及びスポーツ交流の推進を図るための次期計画の策定に着手した。

### (1) スポーツ大会等開催事業

名 称	実施時期	概 要
第63回沼津市町別ソフトボール大会	4.10・17・24	30歳以上の男性及び高校生以下を除く女性が、ソフトボールを楽しむ中で、体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加44チーム)
第56回沼津市町別バレーボール大会	6.12	18歳以上の女性がバレーボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加7チーム)
第67回千本浜ファミリーマラソン大会	11.13	市民の健康増進と体力づくりを目的に、千本浜防潮堤を利用して、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を実施した。(参加者331人)
第76回沼津市スポーツ祭	通 年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、スポーツ協会の協力のもと当市最大のスポーツ大会を実施した。(陸上競技ほか全32種目)

### (2) スポーツ指導者バンク事業

市民のスポーツ振興と健康増進を図るため、自主的にスポーツを通じた健康づくり活動に取り組む団体等に対し、スポーツ指導者を派遣したほか、指導者の資質向上に取り組んだ。

○登録指導者数 60人

### (3) トップアスリート教室開催事業

本市のスポーツ振興の基本理念の一つである「みるスポーツ」を推進するため、本市にゆかりのあるトップアスリートによる教室を開催し、子ども達にトップレベルのプレーを間近に見せることで、スポーツをする楽しみにつなげ競技力向上や才能の発掘を図った。

### (4) 学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として開放し、市民の健康の維持・増進と体力づくりを図った。



学校体育施設利用状況

		運動場（夜間）	運動場（昼間）	体育館（夜間）	体育館（昼間）
小学校	日数	1,526 日	1,350	4,280	1,390
	人数	37,910 人	46,683	80,934	32,016
中学校	日数	747 日	89	3,382	7
	人数	8,860 人	2,508	58,375	255
小中 一貫 学校	日数	— 日	—	378	9
	人数	— 人	—	5,063	297
計	日数	2,273 日	1,439	8,040	1,406
	人数	46,770 人	49,191	144,372	32,568

(5) 屋外運動場夜間照明施設整備事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校等に設置してある夜間照明施設の点検及び修繕を行った。

(6) スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、遊休地等を借り上げた自治会に対し、グラウンド砂の補充及び防球ネット更新の補助を行った。

(7) 地域体力づくり教室等開催事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら、健康・体力づくりができるように、また、運動をはじめのきっかけづくりとなるように各種の教室や講座を地区センターなどを会場に開催した。

ア 地域体力づくり教室

教室名		会場	定員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者
女性体操教室	Aコース	原地区センター	45 <sup>人</sup>	3期延べ25回	704 <sup>人</sup>	18歳以上
	Bコース		45	3期延べ25回	469	
ふれ愛体操教室	水曜日コース		80	3期延べ30回	958	60歳以上
	木曜日コース		80	3期延べ30回	855	
ふれ愛体操教室	大平地区センター	30	3期延べ30回	489	60歳以上	
男性健康づくり教室		30	3期延べ30回	394	18歳以上	
ふれ愛体操教室	静浦地区センター	40	3期延べ30回	543	60歳以上	
ふれ愛体操教室	浮島地区センター	40	3期延べ29回	418	60歳以上	
ふれ愛体操教室	戸田B&G海洋センター	50	3期延べ30回	390	60歳以上	
ふれ愛体操教室	愛鷹地区センター	40	3期延べ30回	557	60歳以上	
ふれ愛体操教室	水曜日コース	第三地区センター	45	3期延べ30回	585	60歳以上
	木曜日コース		45	3期延べ30回	990	
男性健康づくり教室	片浜地区センター	40	3期延べ30回	494	18歳以上	
からだづくり教室	第五地区センター	40	3期延べ30回	550	18歳～59歳	
ふれ愛体操教室		40	3期延べ30回	871	60歳以上	
たのしいヨガ教室		35	3期延べ30回	684	18歳以上	
からだづくり教室	門池地区センター	40	3期延べ30回	240	18歳～59歳	
ふれ愛体操教室		Aコース	40	3期延べ30回	522	60歳以上
	Bコース	40	3期延べ30回	521		
からだづくり教室	今沢地区センター	20	3期延べ29回	117	18歳～59歳	
ふれ愛体操教室		水曜日コース	40	3期延べ29回	605	60歳以上
		木曜日コース	40	3期延べ30回	426	
ふれ愛体操教室	大岡地区センター	40	3期延べ29回	630	60歳以上	
からだとのえ運動教室	内浦地区センター	40	3期延べ30回	701	40歳以上	
たのしいヨガ教室	第二地区センター	30	3期延べ28回	593	18歳以上	
からだバランス教室		30	3期延べ30回	136	18歳以上	
からだバランス教室	第一地区センター	25	3期延べ30回	371	18歳以上	
柔・酸・筋教室	金岡地区センター	30	3期延べ30回	469	18歳以上	
計					15,282	

イ 短期講座

講座名		定員	開催日	参加人員	対象者
9・10月 気軽にチャレンジ運動講座	椅子ヨガ	24 <sup>人</sup>	9.16	14 <sup>人</sup>	18歳以上
	ストレッチポール	24	9.21	9	
	リフレッシュヨガ	24	9.27	14	
	ストレッチ&ピラティス	24	9.29	9	
	DISCO WORLD	24	10.1	15	
	バランスボール	24	10.8	9	
	太極拳	24	10.14	10	
	ダンス体操	24	10.18	5	
	小計	192		85	
からだぽかぽか運動講座	リズム運動	40	5.1.10・24・2.7	114	18歳以上
	水曜エアロ	50	5.1.11・25・2.8	136	
	ロコモケア	40	5.1.12・26・2.9	188	
	室内軽スポーツ	30	5.1.12・26・2.9	62	
	リズム運動	50	5.1.12・26・2.9	77	
	火曜エアロ	50	5.1.17・31・2.14	155	
	コンディショニング	20	5.1.17・31・2.14	59	
	脚力アップウォーキング	40	5.1.18・2.1・15	114	
	金曜エアロ	35	5.1.20・2.3・17	73	
	コアバランスエクササイズ	35	5.1.23・2.6・20	122	
	小計	390		1,100	
合計				1,185	

(8) スポーツ施設マネジメント事業

スポーツ施設の再編を図るため、香陵アリーナ（総合体育館）の開設に伴い、市民体育館及び旧静浦東小学校屋内運動場の解体工事実施設計を行い、屋外スポーツ施設の利用受付窓口を大岡公園内運動場に移転した。

(9) 沼津市民屋内温水プール利用料金助成事業

屋内温水プールの廃止に伴い、プールを活用した市民のスポーツをする意識及び機会の維持を目的として、市が指定した屋内温水プールを利用した市民に対し、利用料金の一部を助成した。

## 第5節 自然体験施設

### 1 ゆめとびら舟山

自然体験施設として、青少年の健全育成を図るための集団宿泊生活や野外活動など年間利用者数は21団体延べ701人であった。

#### (1) ゆめとびら舟山運営審議会

沼津市校長会、沼津市スポーツ少年団、戸田観光協会などの7人により構成され、施設の利用促進、今後の活用の方策などについて審議した。

#### (2) 利用状況

##### ア 月別

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	5.1	5.2	5.3	計
団体数		3	5	1			5		2		5		21 <sup>団体</sup>
実人員		33	75	61			74		97		50		390 <sup>人</sup>
延べ人数		57	116	183			130		134		81		701 <sup>人</sup>
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308 <sup>日</sup>
利用率	0.0	2.2	4.5	6.8	0.0	0.0	5.0	0.0	5.6	0.0	3.4	0.0	2.3 <sup>%</sup>

$$\text{※利用率} = \frac{\text{延べ人数}}{\text{宿泊定員 (100人)} \times \text{開所日数}} \times 100$$

##### イ 団体別

団体 区分	幼・保	小学校	中学校	高等学校 各種学校等	スポーツ 少年団等	その他	計
団体数					4	17	21 <sup>団体</sup>
実人員					89	301	390 <sup>人</sup>
延べ人数					154	547	701 <sup>人</sup>

## 第6節 体 育 施 設

### 1 香陵アリーナ（総合体育館）

香陵公園周辺整備PFI事業として整備され、令和5年3月に供用開始した。

各施設の設計・建設・維持管理・運営について、沼津NEXT株式会社を指定管理者として令和19年度まで実施する。

利用状況（令和5年3月のみ）

目的別・施設別利用状況

（単位 人）

施 設 名	個人利用者	団体利用者	計
ス ポ ー ツ ア リ ー ナ	29	12,565	12,594
多 目 的 ア リ ー ナ	46	2,134	2,180
武 道 場	8	1,801	1,809
弓 道 場	527	99	626
卓 球 場	1,453		1,453
ト レ ー ニ ン グ 室	4,229		4,229
多 目 的 ス タ ジ オ		397	397
多 目 的 室	34	279	313
大 会 本 部 室		171	171
選 手 控 室 1		102	102
選 手 控 室 2		90	90
合 計	6,326	17,638	23,964

### 2 市民体育館

香陵アリーナ（総合体育館）の供用開始に伴い、令和5年2月末に閉館した。

#### (1) 市民体育館運営審議会

市民体育館利用者代表等からの委員（定員15人以内）により構成され、1回の会議を開催し、市民体育館の運営について審議した。

## (2) 開催事業

## 体力づくり教室

教室名		定員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者
親子体力 づくり教室	父子ふれあいコース(30組)	60	2期延べ20回	878	4・5・6歳児と保護者
	3歳コース(120組)	240	2期延べ20回	387	3歳児と保護者
	4・5・6歳コース(60組)	120	2期延べ20回	866	4・5・6歳児と保護者
小学生体育教室		40	2期延べ20回	281	小学1・2年生
男性スポーツ教室		30	2期延べ20回	210	18歳以上
女性体操 教室	月曜日コース	50	2期延べ20回	433	18歳以上
	火曜日コース	150	2期延べ20回	952	
トレーニング教室		10	2期延べ20回	47	18歳以上
女性フィットネス教室		40	2期延べ20回	391	18歳以上
ボディバランス 教室	月曜日コース	40	2期延べ20回	438	18歳以上
	水曜日コース	40	2期延べ20回	366	
コンディショニング教室		25	2期延べ20回	294	18歳以上
ロコモ 予防教室	木曜日コース	40	2期延べ20回	699	50歳以上
	金曜日コース	40	2期延べ20回	420	
脚力アップ教室		40	2期延べ20回	606	60歳以上
健康体操教室		100	2期延べ20回	548	60歳以上
計				7,816	

## (3) 利用状況

## ア 年度別利用状況

(単位 人)

年度	区分	個人利用者	団体利用者	体力づくり 教室等利用者	スポーツ協会 スポーツ教室利用者	計
4	※	40,442	65,624	8,888	5,381	120,335
3		40,173	59,313	10,541	5,668	115,695

※4月から令和5年2月まで

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	17,554 人
	トレーニング	—	19,234
	弓 道	—	3,220
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	—	434
	小 計	—	40,442
団 体 利 用	バレーボール	142	2,337
	バドミントン	736	12,682
	バスケットボール	245	4,957
	テ ニ ス (硬式・ソフト)	204	1,592
	卓 球	174	6,899
	フットサル	283	5,329
	剣道・居合道・柔道	255	3,931
	合気道・空手・太極拳	652	11,016
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	1,003	13,890
	会 議 室	245	2,991
小 計	3,939	65,624	
体 力 づ っ き り 教 室 等	体力づくり教室 (16教室)	320	7,816
	トレーニング指導 (利用者講習)	28	172
	体力測定・診断	7	13
	短期講座 (8教室)	24	887
	小 計	379	8,888
ス ポ ー ツ 教 室	スポーツ教室 (17教室)	360	5,381
合 計			120,335



### 3 勤労者体育センター

香陵アリーナ（総合体育館）の供用開始に伴い、令和5年2月末に閉館した。

#### (1) 開催事業

体カづくり教室

教室名		定員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者
女性体操教室	水曜日コース	120 <sup>人</sup>	2期延べ40回	862 <sup>人</sup>	18歳以上
	木曜日コース	120	2期延べ40回	522	
健康体操教室		120	2期延べ40回	556	60歳以上
計				1,940	

#### (2) 利用状況

ア 年度別利用状況

(単位 人)

区分 年度	個人利用者	団体利用者	体カづくり教室等 利用者	スポーツ協会 スポーツ教室利用者	計
4 ※	2,733	17,547	2,153	301	22,734
3	2,766	17,134	2,557	413	22,870

※4月から令和5年2月まで

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	2,575 人
	そ の 他	—	158
	小 計	—	2,733
団 体 利 用	バレーボール	74	1,265
	バドミントン	392	3,681
	バスケットボール	426	6,086
	体 操	66	997
	ソフトバレー	1	11
	卓 球	7	197
	フェンシング	35	1,099
	バウンドテニス	75	444
	ダ ン ス	26	546
	太 極 拳	22	275
	剣 道	15	921
	そ の 他	23	2,025
	小 計	1,162	17,547
体 力 づ くり 教 室 等	体力づくり教室 (3教室)	60	1,940
	短期講座 (2教室)	6	213
	小 計	66	2,153
ス ポ ー ツ 教 室	スポーツ教室 (1教室)	20	301
合 計			22,734

4 香陵武道場

香陵アリーナ（総合体育館）の供用開始に伴い、令和5年2月末に閉館した。

(1) 公開教室

区 分	回 数	参加人員	摘 要
ス ポ ー ツ 教 室 (4教室)	2期延べ120回	1,197 人	スポーツ協会主催

## (2) 種目・年度別利用状況

(単位 人)

練習場 種目 年度	剣道場・柔道場									弓道場	計
	剣道	空手	なぎなた	居合道	体操・ダンス	柔道	太極拳	合気道	その他	弓道	
4※	3,450	1,617	399	720	3,103	3,800	1,503	552	240	3,749	19,133
3	2,969	743	388	517	2,886	2,665	1,463	558	244	4,573	17,006

※4月から令和5年2月まで

## 5 戸田B&amp;G海洋センター

戸田地区におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として、また、地域に密着した親しまれる施設として利用に供した。

## (1) 年度別利用状況

(単位 人)

区分 年度	プー ル		体 育 室	計
	個人利用者	体力づくり教室利用者	団体利用者	
4	1,979	743	5,497	8,219
3	1,660	806	5,347	7,813

## (2) 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数	利用者数
個 人 利 用	プール	— 回	1,979 人
団 体 利 用	バレーボール	33	683
	バドミントン	130	891
	バスケットボール	77	712
	卓 球	127	897
	ミニバス	8	138
	柔 道	96	1,169
	そ の 他 (ダンス・カローリング等)	59	1,007
	小 計	530	5,497
体 力 づ くり 教 室	体力づくり教室 (9教室)	57	743
合 計			8,219

## 6 屋外施設の年度別利用状況

区分 年度	市営野球場		大岡市民運動場		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
4	274 <sup>回</sup>	10,857 <sup>人</sup>	625 <sup>回</sup>	22,657 <sup>人</sup>	506 <sup>回</sup>	8,118 <sup>人</sup>	421 <sup>回</sup>	6,132 <sup>人</sup>
3	118	8,705	731	21,474	515	9,188	437	5,845

区分 年度	愛鷹運動公園テニスコート (12面)	大岡公園テニスコート (4面)	戸田テニスコート (2面)
4	59,032 <sup>人</sup>	28,723 <sup>人</sup>	219 <sup>人</sup>
3	61,308	28,642	214

## 第7節 図 書 館

### 1 市立図書館協議会

図書館の円滑な運営を図るため、委員9人による協議会を2回開催し、運営や図書館サービスなどについて協議した。

### 2 資料整備

利用者が求める様々な情報に対応するため、一般書、児童書、参考調査図書、電子書籍及び視聴覚資料を整備した。

#### (1) 図書資料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
本 館	一般	7,055 <sup>冊</sup>	18,259,316 <sup>円</sup>	387,704 <sup>冊</sup>
	児童	1,878	3,263,227	72,913
戸 田	一般	323	572,500	24,929
	児童	220	410,311	11,850
自 動 車 文 庫	一般	310	399,715	4,134
	児童	80	114,532	2,102
地 区 セ ン タ ー	一般	1,087	2,025,421	31,320
	児童	419	745,245	39,284
計	一般	8,775	21,256,952	448,087
	児童	2,597	4,533,315	126,149

#### (2) 電子書籍資料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
ぬまづ電子図書館	一般	254 <sup>点</sup>	1,052,827 <sup>円</sup>	11,663 <sup>点</sup>
	児童	190	538,173	953
計		444	1,591,000	12,616

### (3) 視聴覚資料

区 分	購 入 数	金 額	所 蔵 数
本 館	209 <sup>点</sup>	1,328,695 <sup>円</sup>	41,993 <sup>点</sup>
戸 田	11	119,795	1,220
計	220	1,448,490	43,213

### 3 館内・館外業務

本館及び戸田図書館では、一般書、児童書、視聴覚資料、郷土資料、新聞、雑誌等の閲覧・貸出しや、予約・リクエストサービス、レファレンスサービス、コピーサービスなどを行うとともに、本館でのWi-Fiサービスを提供した。また、市街地周辺部の利用者に対して自動車文庫や地区センターの図書室において貸出しを行った。

#### (1) 入館者数

区 分	年 度	開館日数	入 館 者 数		
			年 間	1月平均	1日平均
本 館	4	294 <sup>日</sup>	244,537 <sup>人</sup>	20,378 <sup>人</sup>	832 <sup>人</sup>
	3	295	256,002	21,334	868
戸 田	4	284	5,885	490	21
	3	282	6,183	515	22

## (2) 貸出利用者数、貸出数

(視聴覚資料は館内ブース利用も含む)

区 分	年 度	利用者数	貸 出 数		
			図書資料	視聴覚資料	計
本 館	4	222,522 <sup>人</sup>	612,452 <sup>冊</sup>	68,158 <sup>点</sup>	680,610 <sup>冊・点</sup>
	3	228,727	671,914	84,148	756,062
戸 田	4	2,674	6,404	484	6,888
	3	2,826	7,094	410	7,504
自 動 車 文 庫	4	3,706	14,462	—	14,462
	3	3,481	16,057	—	16,057
地 区 セ ン タ ー	4	15,029	45,636	—	45,636
	3	12,499	42,602	—	42,602
計	4	243,931	678,954	68,642	747,596
	3	247,533	737,667	84,558	822,225

## (3) ぬまづ電子図書館

年 度	開館日数	貸 出 数	
		年 間	1 日平均
4	365 <sup>日</sup>	25,162 <sup>点</sup>	69 <sup>点</sup>
3	365	17,950	49

※令和3年1月29日に開館

## (4) 自動車文庫

市内45か所のステーション及び小学校2校を巡回して、市街地周辺部の利用者及び小学生への図書貸出しを行った。

年 度	出動日数	貸 出 数		
		年 間	1 月平均	1 日平均
4	184 <sup>日</sup>	14,462 <sup>冊</sup>	1,205 <sup>冊</sup>	79 <sup>冊</sup>
3	183	16,057	1,338	88

(5) 郵送・宅配・団体貸出

図書館に来館することが困難な利用者（身体障がい者等）で登録された153人を対象に郵送や宅配貸出しを行った。また、沼津聴覚特別支援学校等に図書の特貸出しを行った。

年 度	郵 送		宅 配		団 体	
	利用件数	貸 出 数	利用件数	貸 出 数	利用者数	貸 出 数
4	16 <sup>件</sup>	42 <sup>冊</sup>	111 <sup>件</sup>	588 <sup>冊</sup>	31 <sup>団体</sup>	16,407 <sup>冊</sup>
3	24	56	113	593	31	16,862

(6) レファレンスサービス

職員が利用者の求める資料の検索や情報の収集を支援する、レファレンスサービスを行った。

(単位 件)

年 度	窓 口	電 話	文 書	E-mail	計
4	8,750	126		7	8,883
3	6,687	110		3	6,800

(7) 相 互 貸 借

各図書館の間で相互に図書資料の貸借を行い、利用者の要求に応じている。資料の貸借は、県立中央図書館の協力車に依頼、郵送、宅配便の方法から選択して行った。

ア 貸 出

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	貸出数	件 数	貸出数	件 数	貸出数
4	671 <sup>件</sup>	1,002 <sup>冊</sup>	12 <sup>件</sup>	14 <sup>冊</sup>	683 <sup>件</sup>	1,016 <sup>冊</sup>
3	778	1,178	10	13	788	1,191

イ 借 受

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	借受数	件 数	借受数	件 数	借受数
4	939 <sup>件</sup>	1,568 <sup>冊</sup>	43 <sup>件</sup>	75 <sup>冊</sup>	982 <sup>件</sup>	1,643 <sup>冊</sup>
3	1,032	1,607	56	94	1,088	1,701



#### (8) 静岡県東部地域図書館間の相互利用

県東部地域の公共図書館相互利用協定により、各市町の利用者は、直接、協定先の図書館から図書資料の貸出しを受けることができる。

協定先は、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町及び小山町の10市6町で、令和5年3月31日現在の登録者数は、20,926人である。

## 4 自主事業

### (1) 図書館講座等

図書館活動の一環として、図書館資料の提供と関連をもたせ、資料の活用を促進し、市民の読書活動推進の一助となるよう講座等を開催した。

#### ア 文芸講座

回	月日	内 容	講 師
1	6.3	柿本人麻呂の歌「東の野にかぎろひの立つ見えて」を読む	常葉大学短期大学部名誉教授 尾崎 富義
2	6.10	山部赤人の歌「田子の浦ゆうち出て見れば」を読む	
3	6.17	疫病で死んだ遣新羅使人 雪宅満の追悼挽歌を読む	

参加者 1日平均 67人 会場 視聴覚ホール 開催時間 18:00~19:30

#### イ 子どもの本を知る講座

月日	内 容	講 師
7.10	「大人になってから絵本に出会うとき」 ～誰かといっしょに読む楽しみ～	静岡県子ども読書アドバイザー 望月 恵美

参加者 26人 会場 第3講座室 開催時間 13:30~15:00

ウ 夏休み子ども講座

月 日	内 容	講 師
8.17	「海のいきものを調べるしごと」 —DNAと進化のはなし—	国立遺伝学研究所教授 工樂 樹洋

参加者 54人 会場 視聴覚ホール 開催時間 13:30~15:00

エ 読書週間講演会

月 日	内 容	講 師
11.6	「歴史の中の人間を描く」 ～頼朝執筆秘話、時々ぬまづ～	歴史時代小説家 秋山 香乃

参加者 100人 会場 視聴覚ホール 開催時間 13:30~15:00

オ 読みメン講座

月 日	内 容	講 師
12.4	「俳優と読む『人形の家』」 ～SPACリーディング・カフェ～	SPAC－静岡県舞台芸術センター 俳優 武石 守正

参加者 15人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30~15:30

## (2) 展 示 事 業

期 間	名 称	内 容
4.2～7.5	「図書館に眠るお宝資料展」	通常書庫に保管している現代版画や、日本で最初の月間保育絵本「キンダーブック」の初版本などの貴重資料を展示
7.7～8.3	夏の企画展 「えほんのせかい こどものせかい」	児童文学作家の松岡享子氏の絵本や翻訳本を展示したほか、冒険物語をテーマとした絵本等を展示
9.13～10.4	「わが家のペット写真展」	ペットの飼い方や動物との共生に関する啓発をしたほか、市民等から募集したペットの写真を展示
10.6～11.13	読書週間企画展 「歴史小説の中のぬまづ」	講演会講師である秋山香乃氏や氏に関連する作家の作品・愛用品等を展示したほか、沼津を舞台とした歴史小説に関連する史跡とともに展示
12.1～12.28	おはなしフェスティバル企画展	昔話をテーマとした紙芝居や人形を展示したほか、市民等から募集した図書館マスコットキャラクターのぬり絵作品を展示
5.2.10～ 3.22	富士山の日企画展 「日本の心 富士山」	富士山世界遺産登録年表、構成資産地図のほか、富士山をテーマとした絵画等の芸術作品やクイズなどを展示

## (3) その 他 事 業

### ア 「子ども読書活動推進」関連事業

講 座 「しかけ絵本講座」

開催日 5月8日

講 師 しかけ絵本専門店メッゲンドルファー代表 嵐田 康平

参加者 42人

### イ 夏休み図書館子ども探検隊

小学生を対象に、図書館の仕事を体験することによって、図書館のしくみや本の調べ方などを学び、将来の利用者を育てることを目的として開催した。

開催日 本 館 7月26・27・28日、8月2・3・4・5・9・10日

戸田図書館 7月28・29日

参加者 本館 36人 戸田図書館 5人

## ウ 上映会

視聴覚資料の有効利用を図る観点から、夏休み及び春休みに上映会を開催した。

本館 上映回数 13回 参加者 431人

戸田図書館 上映回数 1回 参加者 5人

## エ おはなしフェスティバル

読み聞かせボランティアの協力を得て、幼児・小学生を対象とした絵本の読み聞かせや親子で作るエコ工作の会を開催した。

開催日 12月3日 参加者 60人

## オ ビブリオバトル

### (ア) ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津2022

学校と連携し、小中学生を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日 12月11日

参加者 動画による一次審査 小学生の部 19人 中学生の部 38人

発表者 小学生の部 8人 中学生の部 6人

観戦者 小学生の部 66人 中学生の部 38人

### (イ) 大人のビブリオバトル

高校生以上を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日 令和5年3月3日

参加者 発表者 5人、観戦者 40人

## 5 図書館情報ネットワーク事業

本館と戸田図書館及び市内16か所の地区センターをコンピュータ回線でネットワーク化することで、図書館の分館的な機能を整備している。また、パソコンや携帯電話から図書館資料の検索や予約が可能な図書館ホームページ、Facebook及びTwitterによる情報提供を行うことで、利用者の利便向上と図書館資料の利用促進を図った。

ホームページアクセス件数 328,095件

オンライン予約件数 30,853件

ぬまづ電子図書館予約件数 4,773件

## 第8節 市民文化センター

### 1 市民文化センター

公益財団法人沼津市振興公社を指定管理者として、文化芸術の鑑賞・交流の場として利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めた。

#### (1) 市民文化センター運営審議会

市民文化センターの円滑な運営を図るため、委員7人による審議会を2回開催し、施設の利用促進などについて審議した。

## (2) 利用状況

区 分	可 能		使 用					利用人数
	日 数	回 数	日 数	率	件 数	回 数	率	
大 ホ ー ル	317 <sup>日</sup>	951 <sup>回</sup>	162 <sup>日</sup>	51.1 <sup>%</sup>	175 <sup>件</sup>	402 <sup>回</sup>	42.3 <sup>%</sup>	69,710 <sup>人</sup>
小 ホ ー ル	313	939	211	67.4	248	491	52.3	33,690
ホ ー ル 計	630	1,890	373	59.2	423	893	47.2	103,400
大 会 議 室	336	1,008	184	54.8	203	319	31.6	7,269
第 1 練 習 室	338	1,014	105	31.1	110	180	17.8	3,558
第 2 練 習 室	338	1,014	98	29.0	106	167	16.5	3,124
第 3 練 習 室	336	1,008	148	44.0	165	225	22.3	3,141
第 1 会 議 室	338	1,014	92	27.2	97	168	16.6	1,387
第 2 会 議 室	338	1,014	16	4.7	16	30	3.0	268
第 3 会 議 室	338	1,014	100	29.6	109	173	17.1	1,370
第 4 会 議 室	338	1,014	144	42.6	155	251	24.8	2,106
第 5 会 議 室	338	1,014	188	55.6	219	287	28.3	2,986
第 6 会 議 室	338	1,014	92	27.2	94	160	15.8	744
第 7 会 議 室	338	1,014	19	5.6	20	41	4.0	184
特 別 会 議 室	338	1,014	25	7.4	25	58	5.7	78
会 議 室 計	4,052	12,156	1,211	29.9	1,319	2,059	16.9	26,215
1 リハーサル室	336	1,008	218	64.9	271	383	38.0	4,573
2 リハーサル室	338	1,014	208	61.5	258	382	37.7	4,044
リハーサル室計	674	2,022	426	63.2	529	765	37.8	8,617
展 示 室	338	338	101	29.9	101	101	29.9	5,860
計	5,694	16,406	2,111	37.1	2,372	3,818	23.3	144,092